

令和6年度 第2回下関市市民協働参画審議会 議事概要

- 1 開催日時 令和6年10月1日（火）10時00分から
- 2 開催場所 下関市役所西棟5階506・507会議室
下関市南部町1-1
- 3 出席者 下関市市民協働参画審議会委員 16名（3名欠席）

4 審議会概要

（1）市民部長挨拶

（2）議事

令和5年度市民と行政・市民と市民の協働の取組（パートナーシップ）
年次報告について

事務局より令和5年度パートナーシップ年次報告（案）について、昨年
度答申及び事前に提出された委員のご意見を踏まえ説明。

（委員）資料の量が多いので要点だけを分りやすくし概要を示した方が
よいのでは。

（委員）本来審議会とは何かをみんなで話し合って結論を導きだし実行
をするものであると思うが、資料の量が多く資料を追うだけになってしまい、審議を行い結論を導き出すところまで辿り着けないと感じた。

（委員）21ページの委員の兼職状況について、公募をしている審議会
や委員会が少ないのが気になる。同じようなメンバーで市政に関する諮
問をしているのでは。多様な意見を求めるという点においては問題では
ないかと思う。

（事務局）公募委員数が少ないのは認識をしているが、同じメンバーば
かりで審議会や協議会の委員になっているというのは誤解で、それぞれ
の分野ごとに幅広に委員をお願いしている。また、こここのデータについ
ては、委員の兼職状況を示す必要があるが、団体推薦を実施した附属機
関の集計となっていることから、次回から集計方法を変更できればと思
っている。

（委員）誤解を招かない表現が必要ということだと思うので、表記を工

夫した方が良い。

(委員) 市長へのはがきＥメール等について、提出された方の氏名等は伏せないといけないと思うが、こういった内容の意見があるというのは公開できないのか。

(事務局) 以前は内容を公開していたが、最近はしていない。

(委員) この年次報告書は大学とかで引用文献として載せて大丈夫なものなのか。

(事務局) 大学等で引用文献として使われる想定は特になく、あくまで条例規則に基づいて作っているものであり、基本的には公のものと理解していただけると思う。

(委員) 公のものであれば、もう少しグラフや表が統一したものであった方が良い。文章が不足している部分も気になった。

(事務局) 紙面の関係や今までの審議会の委員さんからのご意見を頂いた中で文章が長いと分りづらいという意見が多くあり、視覚的に分かり易い報告書を作ってきた経緯などがあり、なるべく文字を少なくするための1つの手段であったかと思う。

(委員) 公的なものだと文章が長くなるので、市民向けと公的なものと一緒にするのは限界があると感じた。

(委員) 他の方の意見と同様だが、厚い資料となっているので、分かり易い資料にしてほしい。

(委員) 皆さんに少しでも伝わるように一生懸命に資料を作られているとは思うし、分かり易くといわれてもどんな風にという是有ると思うので、みんなで良い資料を作つていければと思う。

(委員) 写真とか表とかを多く使って見やすくする行動力は大変理解できる。ただ見るチームの方も色々温度差がある。その温度差に合わせて資料を簡単にするのか難しくするのかという議論はここでしてもどうしようもないと思うので、その辺のバランス感覚をどこで取るかというのが難しい。

(委員) これだけの情報を入れようとするとやっぱりこうなる。庁内で行ったものを集約し見えるようにしたからこそ、これが多いか少ないか分かるし、情報量が多いがこれ自体はやっぱり意味があり、より開かれた行政の取組を進めていただくためには意味のあることだと思う。また、毎年意見をいただきながら追加したり削除したりの積み重ねてきて

結集したものになっている。例えば字体もユニバーサルデザインを取り入れてもらえている。改めて情報としてみるときに自分が目的とする情報にたどり着くのは大変なので、目次の充実を図っていただくと良いと思った。

（委員）市長へのはがき、Eメール等のところで件数だけでなくどういった内容のものがあったかということがすごく興味があったが、それに対して何も書かれていらない。問題点はどこにあったのか、解決できる問題だったのか、そういったことを深めていくことがあれば良い。

（委員）この会議においては、何か視覚的にパネルとかパワーポイントとかを使用して進めていった方が分かり易いかなと思うがどうだろうか。たくさんの情報を入れたいという気持ちのなかで文章が増えるのは何となく分かるが、視覚データというか、伝えたいことをパッと見たときに理解できるような文章を書くということは難しいとは思うが今後検討していただけたらと思う。

（委員）作る側の話になるが、報告書を分かり易くするとしたら施策の事例を参考資料として最後につけて、基礎となる部分を中心とした報告になると思う。長く多くの意見を頂きながら数字を取り入れた結果が今のこの状況にある。全体的に項目の見直しの時期になっているのかもしれない。また、会議の説明は意見をもとに2年前からやり方を変えており、全体をおしなべて説明するよりは、前年度の答申に対して変更した点等を説明する形に変更している。また、昨年度の意見の中でこの場で事務局の考え方を話す時間がもったいないので、事前にチャット等での意見のやり取りができれば良いという意見を受け、チャットの導入と共に、オンラインでの審議会への参加も合わせて検討をすすめている。そのような取組も皆さんの意見をいただきながら進めていることから、また意見をいただければと思う。

（委員）市民と行政、市民と市民というパイプでつながることで下関が活性化して毎年元気になるとか、活動が明るく賑やかになるということが見えてくるような年次報告であれば良いと思った。先ほどチャットの話もあったが、やはり顔を合わせて意見交換をすることが理解を深める上ではとても大切だと思うので、そこの視点を大事にして会議を運営できたら良いと思う。公募の委員もだんだん増えていると感じ、意見をきちんと持たれた方が多くなっているので心強い。その上で基本となる報

告書は分かり易く気軽に見ていただけるような資料として発行できれば良いと思う。資料により活動の参考となり、気づかないところで頑張っている活動もみえてくるので、そういうところを私たちが会議に参加し地域の方に伝えていくのも大事だと思った。

(委員) 第1回の審議会では審議会活動など情報を発信するときに誰に何を伝えるかということによって話が変わってくるという議論もあったことを覚えている。どういう目的で何をどう作るのかというところも合わせて整理ができればよいと思う。また、市民が年次報告を見るときにバックには基本計画があり、協働とか市民参画が進めばいいなという大きな目標がある中で年度年度でどう進んでいるのか直感的にわかるものがあれば手応えがあると読者に対して分かり易いのではと思った。目標に対してここまで進んだという情報は意外と多くない。直感的に今年度こういうふうに数値が上がったり下がったり、どう判断したとか、どう評価するのか直感的に市民の方が分かり易くなるようなものとして使える文章が作れるといいのかなとお話を伺いながら思った。具体的にはここ数年では記述が多かった報告書に対しては写真を入れたりと進化があったと思うが、今日の議論では全部ワンパッケージで色々な要望に応えるものを作るのは限界があるので、機能分割した方法も検討できればよいと感じた。

(委員) 一通りのお話を皆様から聞かせてもらった中で、内容開示と目次のことについては議論せずにきたところもあると思う。ここから先は自由な意見交換をしたい。

(委員) 事務局でも検討していただきたいことがある。これだけの資料を決められた時間の中で審議検討していかなければならないので、映像等でページを示していただけだとスムーズに会議が進められて考えやすい環境ができるかと思う。

また、市長へのはがき・Eメールの統計について、いろんな公共施設で市報とかたくさん並んでいるけれど、見てもおそらく1%か1%もいっていないというのが紙ものの持つ宿命であって、それを踏まえた上で紙ものと僕たちはどう付き合って市民に伝えるかということを皆で考えて良い方につなげていけたらと思った。

(委員) 答申書の内容としては、先ほどの評価について今後出していく形のもの、プラスして年次報告書の修正部分があった。それ以外のとこ

ろで2点。まず、目次構成の書き方について。読みたいと思ったときに字引のようにパッと分かるような目次構成にする。そして、内容開示について。市長へのはがきの内容、苦情・要望というデリケートな問題ではあるが開示は可能なのかどうか。これは担当部局との兼ね合いがあるので事務局と相談しながらになると思う。したがって、目次構成について皆さんのご意見を伺いたい。

（委員）論文とかでいうと割と分厚いがタイトルから目次とあり、分かり易くするためにはある程度パッと見たときに、次にこの人は何が言いたいのかが分かるようになっていかないといけない。そこはやはり視覚伝達デザインが大切だと思うので引きつけていく部分をもっと増やした方が良い。配置なども工夫が必要と思った。

（委員）目次の作り方はとても大事だと思う。探すのに時間がかかると、探すことでの疲れてしまい読むところまでいかない。紙版だとめくつていくことで割と見やすいのでちょっと手を入れたらと思う。ただPDFデータ版の場合は紙版の目次よりももっと考えた目次を作っていかないと、なかなかページに辿り着けない。そういうところを改善した方が良い。

（委員）同じ意見で紙媒体とパソコンデータで見るとでは異なるので工夫が必要だと思う。また、紙媒体は最初に手に取ってもらうためにはインパクトのある表紙も必要と思う。

（委員）誰に見てもらうのかを考えた上で改善する。それと同時にデザイン的な部分も含めた中身の見せ方が重要な部分ということだと思う。

（委員）基本計画の概要版は見やすいので、このくらいの資料だと使いやすいと思う。

（委員）基本的にこのような資料は市民活動とか市民と一緒に取り組みたいと思ったときに手引書になると思う。資料や文字数が多くなりがちなのは宿命で仕方がないくて、だったら全部網羅するようなものにする。ホームページにPDFデータだけだと見にくいから、ハイパーリンクで目次から飛ぶとか、用語検索できるとか。必要としている人に必要とする情報を届けられるような再編集が冊子でなくWEBでは必要ではないかと思う。

（委員）要は配布の方法の部分。そのような掲示の仕方というのは、今の時代の変化を感じさせる意見と思う。答申については今いただいた内

容について事務局と一緒にになって責任を持って整理していきたいと思うので承諾いただきたい。

(委員) 先ほど公募委員の話が出たと思うが、やはり公募の件数が去年から変わりがないというあたりは今回の答申にも含めた方がいいと思う。

(委員) 目次の見やすさも関わってくるが、誰もが見やすい、色々な立場の方が見やすい紙面を意識した形で作成して欲しいと思う。

(委員) それでは改めてこれで答申に載せていくことにする。皆さんから伺った内容をすべて盛り込むことは難しいが、極力拾い上げられるようにして部分部分ご了承いただきたいと思うし、私どもの希望としての姿勢だけは受け取っていただきたいと思う。

(3) 報告

①市民活動支援補助金について

事務局より市民活動支援補助金の審査結果を報告し、追加募集の実施について説明。

②市民意識調査について

事務局より前回審議会時に各委員に依頼した今年度実施の市民意識調査への設問設定への意見のお礼と、今年度の実施について説明。

以上で全ての予定を終了し、閉会した。